

平成 18 年 (2006) 年度
第 15 回三島ゆうすい会総会・講演会



総会風景



映画「坊っちゃん」の感謝状を手に中島信也さん



工藤周一理学博士。地学団体研静岡支部・日本地質学会に所属

平成 18 年 3 月 10 日 (金) Via701 (本町) において、三島ゆうすい会総会が開催されました。塚田冷子三島ゆうすい会会長の挨拶の後、来賓の小池政臣三島市長、細井要三島市議会議長、須田徳男三島商工会議所会頭からのご挨拶がありました。

次に議案の審議、質疑応答が行われ、昨年度と今年度の事業・会計報告等が承認されました。そして、水よ輝け映画祭「坊っちゃん」に協力された中島信也さんに感謝状が送られました。議長を岩田重理理事、議事録署名人を小野徹顧問、杉橋芳夫運営委員が務めました。議案説明事業報告関係を秋山峰治事務局長、決算・予算関係を大村洋子理事、議事録の作成を佐藤久美子理事が行いました。

総会に続いて 工藤周一理学博士による講演会が開かれました。「三島の湧泉めぐり」と題して三島市内の湧水地の地層のようすと湧水の間関係をパワーポイントを使いながら詳しく説明され、非常に手のかかる三島市内のゆうすい地図も色分けして作られていました。講演後には、専門的な質問が次々と出され、熱い会場となりました。

交流会は、峰田武三島市観光協会会長のご祝辞、志村肇三島ホテルの会長の乾杯の後、和やかな雰囲気の中行われました。15 周年を迎えた「三島ゆうすい会」は、三島市内の整備によってハード面が整ってきたことにあわせて、ソフト面をどのように進めていくかが課題であるなど、三島ゆうすい会や湧水への思いを、参加者それぞれが語りあいました。

「北小学校 4 年生 水とホテルの勉強をしています」

三島市立北小学校の 4 年生 (4 クラス、128 人) が平成 18 年 5 月 2 日 (火) に源兵衛川へ学習に来ました。塚田冷子会長からホテルの成育についての話を聞き、大村洋子理事から川で遊ぶときの諸注意を聞きました。

当日は生憎の雨で、川へ入ることは出来ず源兵衛川の石の上を歩いて下り、宮さんの川の川岸を上ってきました。

塚田邸に立ち寄り、満開のミシマバイカモの花を見、水琴窟の音に聞き入って帰路につきました。



ホテルの幼虫について説明をする塚田冷子会長

2006年6月4日「全国一斉水質調査」実施



水質調査に参加したメンバー



調査の注意事項の確認と桜川での調査の様子



COD測定値表

平成18年6月4日(日)早朝より、恒例の全国一斉水質調査に基づき「三島ゆうすい会」の会員が大場川班と街中班に分かれ、三島市内を流れる川の水質調査をしました。

COD(化学的酸素消費量)値の評価の目安は5段階(0, 2, 4, 6, 8)に分かれており、それぞれの水質がどの段階に入るのかを検査しました。酸化剤の入った容器に採取した水を入れ、その水の色の変化で汚染度を判定しました。

CODとは、水中の物質を酸化分解する時に使われる酸素量のことで、COD値が高いということは、水中に反応しやすい物質が多いことを意味し、川に生活排水や汚水が流れ込んでいる可能性があり、酸素不足が生じ、生物が住めなくなり、浄化作用も低下してしまう恐れのあることを示唆します。

大場川の上流、中流、下流の3カ所で検査しました。上流では青木橋付近、中流では三島市民体育館付近、下流では東小学校付近で水を採取しました。各所とも時差をつけ、5分間ずつ3回計りました。

上流は地形が急、流れも速く、水も少し濁っていましたが、COD値は低くきれいな水と判定されました。中流では流れもややゆったりとし、濁りも少なくCOD値も上流とあまり変わらず低いものでした。検査地点のすぐ近くの川底から東レの排水が湧水のように湧き出していました。最終地点になると、流れはゆったりとし、水の透明度も増し、一見きれいな水と思われましたが、検査の結果、COD値は高く、上中流域よりも汚染が進んだ水と判定されました。

大場川班は、中西康徳、遠藤桂司、小松幸子、大村皖伸、水野幾子の5人、街中班は、宇水勉、佐伯忠夫、上村勝美、大村洋子、坂井良重、坂井史の6人が、源兵衛川、御殿川、桜川をまわりました。

当日はさわやかな天気にも恵まれ、爽快な気分での水質調査でした。

たくさんの蛍に たくさんの感動！！

第14回水と蛍のフェスティバル



屋間からメイン会場は人々がいっぱい

6月3日(土)は天候良好で、飛び交う蛍の数も最高の「蛍日和」だった。主催者発表1万2千人の人数があり、明るいうちから賑わった。三島市立公園楽寿園の入園料無料という三島市の協力もあり、園内のメイン会場や源兵衛川を中心に、蛍を見たい家族連れ等が多数訪れた。

三島ゆうすい会も、この初夏の一大イベントに協力。塚田冷子会長が、フェスティバルの実行委員長を、秋山高男運営委員が同事務局長を務めた。また、本部には小松幸子副会長と大村洋子理事が詰め、ほかの理事・会員多数が会場各所(敬称略・駅前口は、越沼正。南口本部は、岩田重理、水野幾子、大庭治美。南出口は、中西康徳、大村皖伸、宇水勉。南作業門は、佐伯忠夫、柴原俊介。西門は、上村勝美。写真は、坂井良重。音響は、秋山峰治。)等の担当を務め、フェスティバルの大成功に一役かった。準備段階の午前には、広川敏雄理事が、

蛍が飛び始めた時に照明の光が漏れないようにと、「寒紗紗」という幕を「ほたるの里」や塚田邸奥、源兵衛川等に



来賓の小池政臣三島市長と細井要三島市議会議長を、メイン会場の舞台鑑賞にご案内する塚田冷子会長

南口本部担当の水野幾子理事は、「あまりの人数にびっくり。あれだけあったチラシはすぐに分け終わり、門を歩いて行く人数を数えたら、5分で95人でした」と、フェスティバルに期待して訪れた人々の様子を語った。

当会以外にも、多くのボランティアがフェスティバルを支えており、この経験を通して年々成長していく高校生や大学生の姿は、大変頼もしい。上級生から下級生に、その精神が受け継がれていくように、蛍を守り育てる優しい気持ちで、訪れた人々の心に広がるフェスティバルの成果は大きい。



三島南高の優雅な雅楽演奏と舞い・本部詰めの小松幸子副会長と大村洋子理事

活動あれこれ



元気を取り戻した
宮さん夫婦水車

宮さんの川の夫婦水車を市民の水車募金により3月26日、材料調達から1年を費やし製作に励み、5年ぶりに総檜づくりリニューアルしました。三島ゆうすい会、グラウンドワーク三島、遊水匠の会の皆さん（塚田会長をはじめ11名）が宮さんの川に集まり、旧水車は解体され、新しく総檜6尺水車が据付られました。また、5尺水車は、受け軸をベアリングに交換しスムーズに回転できるように改良され、元気を取り戻したようでした。

水時計、漏剋は、ペンキを塗り替えリフレッシュされ、桜の花見シーズンには、



大きな水車は設置も大変

元気の良い愛の共演、せせらぎ夫婦水車が見られ、若い新婚カップルが幸せのシンボル夫婦水車の前で記念撮影と愛を誓い合う LOVE PLACE として愛されることでしょう。市民の憩いと愛の泉の場になりつつ、幸福を呼ぶ場所として市民に親んでもらえるようこれからも環境を護っていきましょう。

水乞い祈願祭・三島梅花藻を残そう！ 未来の子どもたちに

三島梅花藻の里の湧水が少なくミシマバイカモが枯れる心配があり3月5日に当会主催の水乞い神事が行われました。遊水匠の会より富士山からの贈り物“湧き水”が永遠に恵まれるよう祈念

する釣瓶井戸を寄贈され、当会からは、井戸より汲み上げる水中ポンプを2台購入し設置しました。

塚田冷子会長と源兵衛川を愛する会の佐伯忠夫前会長が水乞いの儀を厳粛に執り行いました。この熱き水乞いでミシマバイカモも熱き潤いにホッと



水乞い祈願も無事にすんでホットひと息
ていることでしょう。

末永くこの恵みが千年までも万年までも続くよう参加者20名で滞りなく納めることが出来ました。協賛はグラウンドワーク三島、遊水匠の会の皆さんでした。市民の宝物ミシマバイカモ保全作業に参加しましょう。また遊びに来てね！三島梅花藻より

NHKの川崎アナの取材撮影に協力

夕方のNHKの番組「たっぷり静岡」に、時々、江戸時代風旅姿の川崎寛司アナウンサーが登場する。静岡県 の宿場町を訪ねる企画だが、三島宿を放送するにあたって、川崎アナが取材に訪れた。湧水が湧いている所や水辺を



やっと到着の川崎アナと撮影隊を出迎えに

歩いてみたいとのことで、小松幸子副会長が案内をした。

取材日は、生憎の雨天で、ネクタイ姿にポンチョ風レインコートの川崎アナは、水の再生に取り組む三島ゆうすい会の活動にも大変興味を持たれ、川掃除風景や、水辺で遊ぶ子供たちも撮影した

いと、いろいろ要望を出していった。熱心な取材姿勢だった。皆にも協力をあおぎ、撮影日5月21日(日)に備えた。しかし前日、川掃除の方の撮影は諸事情で見送りとなった。

いよいよ撮影日。絶好の五月晴れ。撮影を待つ子供たちは、水辺で遊び疲れた。撮影隊は先に山中城まつりでの撮影に入り、水辺の撮影は遅れに遅れた。子供を見守る家族も、待ちくたびれた。

やっと旅姿の川崎アナとカメラと音声さんたちが到着。源兵衛川での撮影風景を覗き込む観光客。調子によって、はしやく子供たち。怒鳴りたくても撮影中で、声を発せられない大人たち。昨年上映した昭和の映画「坊っちゃん」の三島での撮影風景も、こんなだったのだろうか、思いを馳せる。



川崎アナ、いよいよ源兵衛川で子供たちと

翌日、川崎アナから予定どおりにいかなかったことへのお詫びやお礼の連絡が入った。

5月25日の放映日、結局、塚田冷子会長のお孫さん舞夕(まゆ)ちゃんが、源兵衛川に足を浸そうとしている川崎アナに「最初は冷たいかもしれないけど、ちょっと我慢すればすぐに慣れるからね！」と優しく言っている声が、唯一、三島の水辺での人物登場シーンだったようだ。カルガモ親子は、よく登場していたが・・・。ご協力くださった多くの皆様に、心より感謝している。



源兵衛川のカルガモ親子

ゆうすいあれこれ

●「ミシマバイカモを組織培養」



英貴さん（右）と将仁さん

三島市泉町出身の石井英貴さん（筑波大学第二学群生物資源学類2年）、将仁さん（日本大学三島高等学校1年）兄弟は絶滅危惧種であるミシマバイカモの組織培養をしました。幼い頃から知っている、塚田冷子（三島ゆうすい会会長）宅からミシマバイカモをわけてもらい寒天培養を用いカビや細菌の発生を抑える方法を考え、冷蔵庫を使い温度を一定（15℃）にするなど、設備や資金がないところでも



組織培養されたミシマバイカモ

培養ができることに成功しました。

組織培養に成功したミシマバイカモは、塚田冷子会長のもとに戻され観察を続けています。これからのふたりの研究は、DNA解析や種子による組織培養研究をしていきたいということです。

●「モクズガニを放流」

平成18年4月28日、浜名漁協向かいモクズガニの幼ガニを購入し、三島市の許可を得て、当日三島市内の河川（桜川、山田川、夏梅木川）に放流。その後、5月3日再び残りのモクズガニ数百匹を繁殖す



モクズガニを放流する子供たち

るようお願い、菰池に放流しました。モクズガニは北は北海道から南は沖縄までの各地の河川に成育し、秋から冬にかけて川の上流から海水と交わる河口付近に下って3日間程海水になれてから繁殖活動を行い、幼ガニは初夏に川をさかのぼり河川の上流で成長します。鉗脚（ハサミのこと）に軟毛が

密生している所以他のカニと区別できます。鉗脚で食物を口に運びますが手ではありません。5脚の内1脚です。鉗脚の無いカニは生存できません。これから毎年モクズガニの放流を行いたいと考えています。

●「フジテレビの番組に協力」

5月26日はフジテレビ“晴れたらいいねっ！”の撮影に協力いたしました。

楽しく全国各地を巡る旅情報番組です。町中で蛍が舞うなんてすばらしいということで三島に来てくれました。内田恭子、千野志麻両アナウンサーが、寿退社することで佐野瑞樹アナウンサーが蛍の幻想的な輝きをプレゼントする番組でした。途中で、益田由美さんがこの番組に参加し三島へ行くというと「三島ゆうすい会の塚田冷子さん？」と私たちのことを覚えていてくれました。放送は6月11日7時から8時、1時間のスペシャル番組でした。



フジテレビのアナウンサーたちと塚田冷子会長

今後の予定

★いずれの定例活動も自由参加です。ふるってご参加ください！雨天時は原則として休み

【定例活動（作業等）】

●派兵衛川清掃

原則として毎月第2日曜日 13:00～水の苑緑地・かわせみ橋集合 長靴、軍手またはビニール手袋持参「源兵衛川を愛する会」とともに

●桜川清掃

原則として毎月第1土曜日 10:00～白滝公園集合 長靴、軍手またはビニール手袋持参「桜川を愛する会」とともに

●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第2日曜日 10:00～三島梅花藻の里集合 長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参

会費・ご寄付・資機材支援

★本年度分（平成18年度分）会費納入にご協力いただき有難うございます。ご芳名は後日のご報告とさせていただきます。

★未納の方は、いずれかの口座へご入金くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

（年会費金額）

- ・正会費 3,000円
- ・賛助会費 1口10,000円

〈お振込み先〉

- ・郵便振替 0840-4-118192
加入者名：三島ゆうすい会
- ・静岡銀行三島支店
普通預金 No.0346532
- ・スルガ銀行三島セントラル支店
普通預金 No.572969
- ・三島信用金庫西支店
普通預金 No.1042399
口座名：三島ゆうすい会
会長 塚田冷子



三島ゆうすい会事務局

事務局員は常駐しません。電話の方は留守番電話にメッセージを。e-mail、Faxでご連絡いただくと助かります。

〒411-0037 静岡県三島市泉町5-36 Tel/Fax 055-981-5033 e-mail info@yusui.org URL http://www.yusui.org